

② 造林方法が天然更新の場合

伐採及び伐採後の造林に係る森林の状況報告書

平成34年6月31日

〇〇市長 殿

住所 〇〇市△△町字□□123 造林の期間の末日から 30 日以内であり、適正。

伐採をした者と伐採後の造林をした者が異なる場合は、連名で報告(ただし、造林をした者の記載があれば足りる。)

届出人 氏名 〇〇林業 伐採をした者(立木を買い受けて伐採した者等)

代表取締役 林野 次郎 印

住所 〇〇市〇〇町1-2-3 伐採後の造林をした者(森林所有者)

届出人 氏名 森林 太郎 印

平成29年10月1日に提出した伐採及び伐採後の造林の届出書に係る森林につき次のとおり伐採及び伐採後の造林を実施したので、森林法第10条の8第2項の規定により報告します。

1 森林の所在場所 複数地番にまたがる場合は、該当する全ての地番を記載する。

〇〇市 △△町 大字〇〇 字△△ 地番1234-1番地、1234-2番地

2 伐採の実施状況 全ての地番の合計面積を記載する。

伐採面積	3.30 ha		
伐採方法	(皆伐) ・ 択伐	伐採率	100%
伐採樹種	クヌギ、その他広葉樹		
伐採の期間	平成29年11月10日～平成29年12月20日		

3 伐採後の造林の実施状況 複数の樹種を造林した場合は、樹種ごとに記載されているか？

	造林の方法	造林の期間	造林樹種	樹種別の造林面積	樹種別の造林本数
人工造林	-	-	-	-	-
天然更新	ぼう芽更新、天然下種更新	平成29年12月21日～平成34年6月18日	クヌギ	2.20ha	7,000本
			その他広葉樹	1.10ha	別添のとおり

4 備考

- 注意事項**
- 1 報告に係る森林の所在する市町村ごとに提出すること。
 - 2 氏名を自署する場合には、押印を省略することができる。
 - 3 森林の所在場所ごとに記載すること。
 - 4 面積は、小数第2位まで記載し、第3位を四捨五入すること。
 - 5 樹種は、すぎ、ひのき、まつ(あかまつ及びくるまつをいう。)、からまつ、えぞまつ、とどまつその他の針葉樹及びぶな、くぬぎその他の広葉樹の別に区分して記載すること。
 - 6 伐採方法欄には、皆伐又は択伐の別を記載し、伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。
 - 7 造林の方法欄には、人工造林による場合には植栽又は人工播種の別を、天然更新による場合にはぼう芽更新又は天然下種更新の別を記載すること。
 - 8 人工造林による場合において、複数の樹種を造林したときは、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の造林本数欄には、造林した樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。

9 天然更新による場合においては、造林樹種欄には代表的な樹種を、樹種別の造林面積欄には天然更新に係る区域全体の面積を記載すること。また、更新調査の結果又は造林地の写真その他の更新状況を明らかにする資料を添付する場合には、樹種別の造林本数欄には、「別添のとおり」と記載することができる。

(別添の例1)

造林地の写真
(撮影日：平成〇年〇月〇日)

造林地全体の遠景
(数枚)

更新樹種の生育状況（高さや成立本数）がわかる
近景（代表的な更新樹種
がわかる近接写真を含
む）

(別添の例2)

更新状況チェックリスト
(確認日：平成〇年〇月〇日)

- 更新樹種の稚樹の樹高が周囲の競合植物の草丈を十分上回っている。
- 更新樹種の稚樹の本数が半径〇mの円内に〇本以上生育している。
- 伐採跡地が全体的に更新されている。

-

-